

出張先でブロードバンドを使おう

渡辺健次

理工学部知能情報システム学科

watanabe@is.saga-u.ac.jp

1. はじめに

西暦 2000 年代になってからのブロードバンドネットワークの普及は、目を見張るものがあります。総務省の平成 16 年度版情報通信白書には、2003 年度末でブロードバンド契約数が 1,500 万契約に達したと記されています[1]。本稿をご覧の方の多くも、自宅に CATV、ADSL、そして光ファイバといったブロードバンド環境を導入して、快適なインターネット利用を実現されていると思います。

また、佐賀大学の学内 LAN についても、ここ数年間の整備の結果、キャンパス全域で無線 LAN が利用できるようになるなど、他の大学では類を見ないブロードバンド環境が実現されています。図書館の閲覧コーナーで、持参したノート PC を利用している学生を見かけることも、珍しい光景ではなくなってきました。

このように、自宅や大学のブロードバンド化が進むと、出張などで移動した先で、同じようにブロードバンドを利用したい！という欲求に駆られます。昨今は、学生とのやりとりや、事務連絡にまで電子メールが利用されるので、出張先でネットワークにアクセス出来ないと、日常の活動に影響を及ぼしてしまいます。

このような、いわゆるモバイル環境では、これまでは携帯電話や PHS のような低速な通信手段を利用せざるを得ず、ブロードバンドに慣れた体には、かなり辛いものがありました。例えば、添付ファイルがついたメールを取り込むだけで長時間待たされるのを、経験された方も多いことでしょう。たとえ b-mobile のような通信時間を考慮しなくても良い PHS であっても、長い待ち時間は、精神的に辛いものがあります。

筆者も、ここ数年間、ノート PC と共にデータ通信用の PHS を携帯し、出張先で利用していました。そんなある日、実は PHS は意外と使っていないのではないか？と思い始めました。というのも、空港では라운ジの無線 LAN を利用し、

宿泊しているホテルでは、客室にある情報コンセントにつないで、LAN が利用しています。PHS と比較すると、遙かに速い通信速度で快適なので、PHS を持っていても、LAN を使います。

そこで本稿では、筆者が多くの出張を通して得た「出張先でブロードバンドを利用する」ことに関して、空港やホテルなどで、どのようなサービスが利用できるのか、その時どんな Tips があるのか、といった点を中心に紹介してみます。

2. 準備するもの

2.1 ノート PC

本稿の内容は、モバイル環境での PC の利用ですので、当たり前ではありますが、持ち運ぶ PC が必要です。

出張先でブロードバンドを利用するためには、有線と無線の両方の LAN に対応している必要があります。最近の機種であれば、全く問題ないでしょう。

2.2 LAN ケーブルの類

ホテルの客室で LAN を利用する時、ツイストペアケーブルを持っていると、フロントで借りなくても済むので便利です。ELECOM の携帯用ケーブル¹が便利かもしれません。

最近では、ベッドの上に寝転がって PC を利用したいという人のために、持ち運び用のコンパクトな無線 LAN セット²も販売されています。

¹

<http://www2.elecom.co.jp/cable/lan/utp/ld-mctf/index.asp>

²

<http://www.planex.co.jp/product/bwave/gwmf54g.shtml>

3 空港で利用しよう

さて、本章からは、具体的な利用について、紹介してゆきます。

空港や駅といった、時に長い時間を過ごさざるを得ない場所では、待ち時間を有効に活用するために、積極的にブロードバンドを使いたいものです。そのようなお客のニーズに応えるべく、我々がよく利用する多くの空港で、無線 LAN を中心とした、ブロードバンド環境が利用できるようになってきました。

以下では、具体的な場所と共に、使い方を紹介します。

・福岡空港

福岡空港では、国内線の第 2 ターミナルと第 3 ターミナルの搭乗待合室で、無線 LAN が利用できます。使い方などの情報は、福岡空港ビルディングのホームページに掲載されています³。

・伊丹空港

到着口の出口の手前、手荷物が無い人用の通路に、LAN ケーブルが突きだした机が設置してあります。PC に挿すと DHCP でアドレスが割り当てられ、いきなりインターネットが利用できます。電源はありません。

また、ANA 側の 9 番、10 番搭乗口付近では、FREESPOT が利用できるようです(看板がありました)。

・関西空港

国内線 67 番搭乗口の近くに、LAN ケーブルが突きだした机が 1 つあります。上に記した伊丹空港と同様に、PC に挿して利用できます。電源もあります。

また、関西空港の搭乗口のほぼ全域で、無線 LAN が利用できます。これは、バッファローが展開する FREESPOT サービスで、関西空港では無料で利用できます⁴。無線 LAN に接続して、ブラウザを起動すると、FREESPOT の画面となり

³ <http://www.fuk-ab.co.jp/>

⁴ <http://www.freepot.net/map/list.php?ds=27> の下の方。

ます。一度表示させると、以降は普通にインターネットが利用できます。

・中部国際空港

2005 年 2 月 17 日に開港したばかりの中部国際空港には、NTT のフレッツ SPOT の看板が、でかかど掲げられています。「空港内 15 カ所でご利用可能です」と、ホームページに記されています⁵。ただし、フレッツ SPOT は有料サービスです。

・羽田空港

2004 年 12 月 1 日にオープンした第 2 ターミナルには、So-net が運営するインターネットカフェ「エクセルシオールカフェ with ソネット」があり、無線 LAN が無料で使えます。

一方、第 1 ターミナルには、2 階出発ロビー南北に 1 ヶ所ずつ「パソコンデスク」が設置しており、無料で利用することができます。

これらの情報は、羽田空港ターミナル Big Bird の Web ページから、得ることができます⁶。

・成田空港

成田空港は、無線および有線 LAN が充実しています。IPv6 もサポートされるなど、日本の玄関空港にふさわしいサービスを誇っています。詳しい情報は、成田空港のホームページ⁷をご覧ください。

筆者は一度しか成田空港を利用したことがないのですが、2002 年 10 月に利用した際、到着口を出たところで無線 LAN にアクセスすると、いきなり IPv6 でつながったのを覚えています。

・ANA プラチナ会員の方

多くの航空会社が空港にラウンジを持っており、利用頻度の多い人はラウンジで快適に過ごすことができます。

⁵

<http://www.centrair.jp/service/sv-waiting/index.html>

⁶ <http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>

⁷ <http://www.narita-airport.jp/jp/>

ANAの場合、Signetというラウンジを空港で運営しており、マイレージクラブのプラチナ、ダイヤモンドグレードの会員が、利用することができます⁸。

このANAのSignetでは、YahooBBが提供する無線LANサービスを利用できます。受付でスクラッチカードをもらい、こすって出てくるESSIDに接続し、ブラウザを起動して、スクラッチカードに記されているユーザIDとパスワードを入力することで、インターネットにアクセスできます。

現在の所、無線LANが利用出来るSignetは、羽田、成田、伊丹、福岡の各空港ですが、順次全国展開するようなので、期待が高まります。

また、SignetではEPSONによるプリントサービスも利用できます。ラウンジ内にEPSONのカラープリンタが設置しており、文書を出力できます。

なお、JALなどの他社でも同様のサービスがあると思いますが、筆者はANAしか使わないので、情報を持っていません。あしからずご了承ください。

開港したばかりの中部国際空港では、国内線出発口にANA、JAL共同運営のラウンジがありました。ここでは、FREESPOTとフレッツSPOTによる無線LANが利用できるほか、有線LANの情報コンセントを備えたテーブルが用意されており、自由に利用できるようになっていました。ケーブルを持っていない場合は、フロントで借りることができるようです。



図1 チャンギ国際空港で仕事する怪しい人達

・海外の空港

シンガポールのチャンギ国際空港では、ロビー内ほぼ全域で無線LANが利用できるだけでなく、パソコンデスクが多く設置しており、電源と有線LANが利用できます(図1)。電源はイギリス式の3穴タイプですが、ロビー内にある電器店で、変換アダプタを購入できます。

韓国の仁川国際空港では、韓国のKT Corporationが運営するNESPOTによる無線LANサービスが利用できます。ただし、NESPOTは有料サービスで、空港内のKTのカウンターでクレジットを購入する必要があります。KTはNESPOTを全国展開しており、空港で購入したクレジットを持っていれば、韓国内の多くの街で、NESPOTのサービスを利用することができます。

ところが、仁川国際空港では、他にも沢山の無線LANが運用されているようで、運が良ければ、無料の(こっそり使える)アクセスポイントにつながることもあります。また、何故か、入国審査付近で、無線LANが利用できます。さすがに、審査待ちの列でPCは使えませんが、PDAなら使えます。

仁川国際空港のアシアナ航空のラウンジには、LANケーブルが突きだしたテーブルがあり、ノートPCをつなぐことができます。電源も備わっています。電源コンセントは、韓国式の2穴タイプです。

韓国・チェジュ空港の国内線出発口に、LANケーブルが突きだした机がありました。以前はPCが設置されていたような感じでしたが、そのLANケーブルをPCに接続すると、いきなりインターネットにつながりました。

デトロイト空港にはインターネットカフェがあり、PCをLANにつなぐことができました。2002年当時に30分\$10でしたが、巨大なハンバーガーを頬張りながら、メールを読むことができました(図2と図3)。

⁸ <http://www.ana.co.jp/signet/index.html>



図 2 デトロイト空港のオンラインカフェ



図 3 巨大な「ミシガンバーガー」

4. ホテルで利用しよう

LANを目当てに、東横インを利用されている方も多いと思います⁹。最近では、大学生協が運営しているコープイン渋谷でも、客室でLANが利用できるようになりました¹⁰。

「楽天トラベル(旧旅の窓口)」のホームページを開くと、「インターネットができるルーム検索」というメニューが目に入ります¹¹。最近では、多くのホテルで有線・無線によるLANサービスが利用できるようになります。

ただし、例えば、三井アーバンホテル新千歳空港のように、LANが利用出来る部屋と利用できない部屋があることもあり、予約時に注意が必要です。

⁹ <http://www.toyoko-inn.com/>

¹⁰

<http://hawk2.kyoto-bauc.or.jp/coop-inn/shibuya/>

¹¹ <http://www.mytrip.net/>

東横インでは、LANに接続するとDHCPでIPアドレスが割り当てられ、インターネットが利用できるようになりますが、コープイン渋谷では、その後ブラウザを起動して、確認ページで利用開始をクリックする必要があるなど、ホテルが導入しているシステムによって、使い方が異なる点に注意が必要です。

コープイン渋谷と同様のシステムは、他の多くのホテルでも導入されていますが、ホテルによっては、Internet Explorerでは旨く確認ページが表示されない場合もあります。確認ページで確認を行わないと、インターネットは利用できません。そのような場合は、Netscapeを使うと、旨くいくことがあります(コープイン渋谷では旨くいきます)。

また、ホテルによっては、特定のポートの通信がブロックされていることがあります。例えば東横イン羽田大鳥居本館では、465番ポート(SMTP over SSL)の通信ができませんでした。コープイン渋谷は、25番ポート(SMTP)の通信を横取りして、メール送信が旨くいくようにするシステムが導入されているようです。

海外では、韓国の場合、ほとんどのホテルの客室に、情報コンセントが備わっており、無料で利用できます。ホテルによっては、長いLANケーブルが、部屋の片隅でとぐろを巻いていたこともありました。部屋に無い場合でも、パソコンコーナーに行けば、利用できます。備え付けのPCのOSが日本語版のWindowsの場合もあります。

香港の九龍半島側にあるカオルーンホテルには、客室にPCが備え付けられていて、Webの閲覧が可能です。日本語も表示できます(入力はできません)。PCがある机をよく見ると、情報コンセントがあります。滞在した時、たまたまPCを持っていなかったので試せませんでした。普通に利用できるのだと思われます。

シンガポールで泊まったカールトンホテルでは、客室の情報コンセントが有料となっており、料金は1分間S\$00.60、up to a maximum chargeでS\$20.00という料金でした。

5. 駅で利用しよう

空港同様、駅でブロードバンドが利用できると便利です。既にJR各社が、新幹線の駅を中心に、無線LANサービスを行っています。

- JR 東日本
<http://www.jreast.co.jp/musenlan/>
- JR 東海
<http://jr-central.co.jp/info.nsf/CorpInfoPrv/387419E4DCBAB5BC49256CFD0036EE74>
- JR 西日本
<http://www.jr-odekake.net/guide/ekilan/>
- JR 九州
http://www.jrkyushu.co.jp/w_lan/index.jsp

ただし、JR 各社が提供するサービスを利用するためには、上記の Web ページに記されているプロバイダの会員である必要があります。

このあたりが、空港で利用できるサービスと、微妙に異なります。

6. 飛行機の機内で利用しよう

ボーイングが提供する「コネクションパイピング」を利用すると、機内で無線LANによるインターネットアクセスが利用できます¹²。

料金は 3 時間未満の短距離フライトが\$14.95、3~6 時間の中距離フライトが\$19.95、そして 6 時間以上の長距離フライトが\$29.95 となっています。

筆者は利用したことがないのですが、経験者によると「RTT は長いけど、スループットは良かった」とのこと。乗る機会があれば、一度試してみたいと思っています。

7. おわりに

本稿では、出張先で利用できるブロードバンド環境ということで、筆者の経験を基に記してみました。

ブロードバンド環境の広がり、日進月歩で進んでいます。本稿に記されているもの以外にも、多くのサービスが利用できるかもしれません。情報がありましたら、是非、筆者にお知らせください。

今後は、6 章に記した「コネクションパイピング」のように、移動中でのブロードバンド環境が、実現されてくるのだと期待しています。新

幹線の車内でブロードバンドが利用できると、便利だと思いませんか？

本稿が皆様の出張を、少しでも快適なものにする一助となれば幸いです。

参考文献

- [1] 総務省: “平成 16 年版情報通信白書”,
<http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/ja/h16/index.html>

¹² <http://www.connexionbyboeing.com/>